



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月27日

上場会社名 信越化学工業株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 4063

URL <https://www.shinetsu.co.jp/jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 斉藤 恭彦

問合せ先責任者(役職名) 執行役員 経理部長(氏名) 笠原 俊幸

TEL (03) 6812 - 2350

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日 2022年11月21日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有(補足資料は当決算短信に綴じ込んでいます)

四半期決算説明会開催の有無 : 有(証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,409,336	49.7	536,237	79.7	559,026	84.2	392,324	77.6
2022年3月期第2四半期	941,341	32.5	298,403	61.9	303,522	57.9	220,904	57.4

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 729,278百万円(129.2%) 2022年3月期第2四半期 318,232百万円(153.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	955.99	955.41
2022年3月期第2四半期	531.67	531.19

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	4,612,477	3,901,473	81.7	9,268.71
2022年3月期	4,053,412	3,429,208	82.1	8,007.24

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 3,769,440百万円 2022年3月期 3,326,564百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	150.00	—	250.00	400.00
2023年3月期	—	225.00			
2023年3月期(予想)			—	225.00	450.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,700,000	30.2	940,000	39.0	980,000	41.1	680,000	36.0	1,670.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当資料に記載の業績見通し等の将来に関する記述は、現在入手している情報による判断及び仮定に基づいた記述であり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績等は、様々な要素によりこれら業績見通し等とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績等に影響を与え得る重要な要素には、当社及び当社グループ会社の事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向、対米ドルをはじめとする円の為替レートなどが含まれます。ただし、業績等に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 14 頁「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023 年 3 月期 2 Q	416,662,793 株
	2022 年 3 月期	416,662,793 株
② 期末自己株式数	2023 年 3 月期 2 Q	9,978,306 株
	2022 年 3 月期	1,218,008 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023 年 3 月期 2 Q	410,383,578 株
	2022 年 3 月期 2 Q	415,487,937 株

(注) 2022 年 4 月 27 日開催の取締役会決議に基づき、5,717,200 株 (99,998 百万円) の自己株式を決議上限まで取得しており、11 月 8 日に消却予定です。

また、7 月 27 日開催の取締役会にて、上限 9 百万株 (1,000 億円) の自己株式を 12 月 30 日までに取得し、2023 年 1 月 11 日に消却することを決議しました。同決議に基づき、9 月 30 日までに 3,072,900 株 (50,935 百万円) の自己株式を取得しました。

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 8
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 9
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 9
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 11
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 13
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 14
(継続企業の前提に関する注記)	P. 14
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 14
(会計方針の変更)	P. 14

(補足資料)

1. 四半期業績の推移	P. 15
2. 設備投資額と減価償却額 四半期推移 セグメント別実績及び年間予想	P. 16
3. その他決算主要項目	P. 17
4. 貸借対照表 前期末比増減の内訳	P. 17
5. 配当金の推移	P. 18
6. 生産拠点別セグメント売上高	P. 18
7. 市場別売上高	P. 19
8. 平均為替レートの推移	P. 19
9. トピックス	P. 20
10. 主な設備投資	P. 20

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2022年4月1日～9月30日）は、国際通貨基金が今年の経済成長率見通しを複数回下方修正し、また「何十年ぶりの現象」という言われ方がしばしばなされる情勢となりました。景気循環的な減速に加えて、様々な変化が世界経済を揺り動かしています。インフレーションの沈静化を目指す金融政策が取られる一方で、カーボンニュートラルの施策や経済安保ほかの産業政策が進みつつあります。顧客との意思疎通を密に保ち、顧客にとって価値ある製品の開発を急ぐとともに、揺るぎない品質の製品を安定供給し続けます。短期的な変動・振幅を巧みに乗り切り、顧客と市場からの要望・需要に適時に応えられるよう、投資と開発を継続します。

当第2四半期連結累計期間の業績は、次のとおりとなりました。

(億円)

	2022年3月期 上半期 (4月～9月)	2023年 上半期 (4月～9月)	増 減	四半期毎の内訳	
				4～6月	7～9月
売上高	9,413	<b>14,093</b>	(49.7%) 4,680	6,567	7,526
営業利益	2,984	<b>5,362</b>	(79.7%) 2,378	2,496	2,866
経常利益	3,035	<b>5,590</b>	(84.2%) 2,555	2,626	2,963
親会社株主に帰属 する純利益	2,209	<b>3,923</b>	(77.6%) 1,714	1,841	2,082
ROIC（年換算）	24.8%	<b>36.7%</b>	11.9ポイント		
ROE（年換算）	15.1%	<b>22.1%</b>	7.0ポイント		
ROA（年換算）	17.2%	<b>25.8%</b>	8.6ポイント		
1株当たり					
純利益	532円	<b>956円</b>	424円		
中間配当金	150円	<b>225円</b>	75円		

(注) ROIC（投下資本利益率） =  $\frac{\text{税引後営業利益}}{\text{純資産} + \text{有利子負債} - \text{手持資金}}$

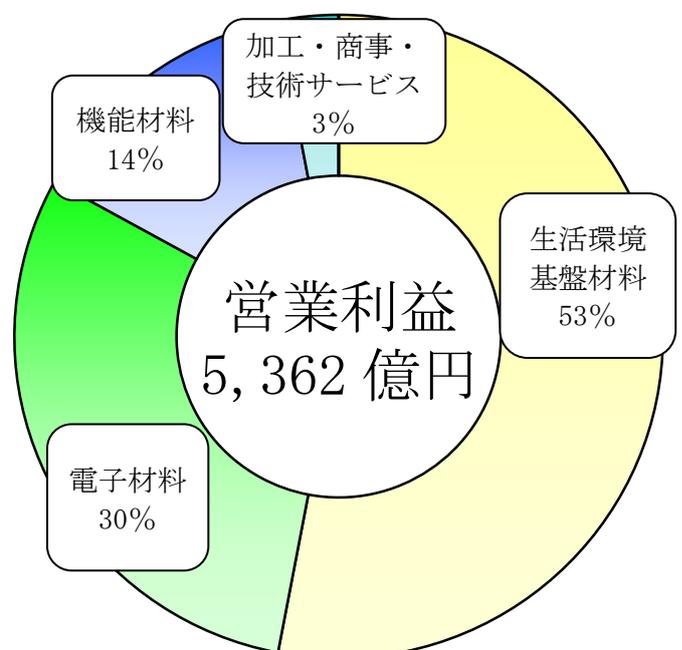
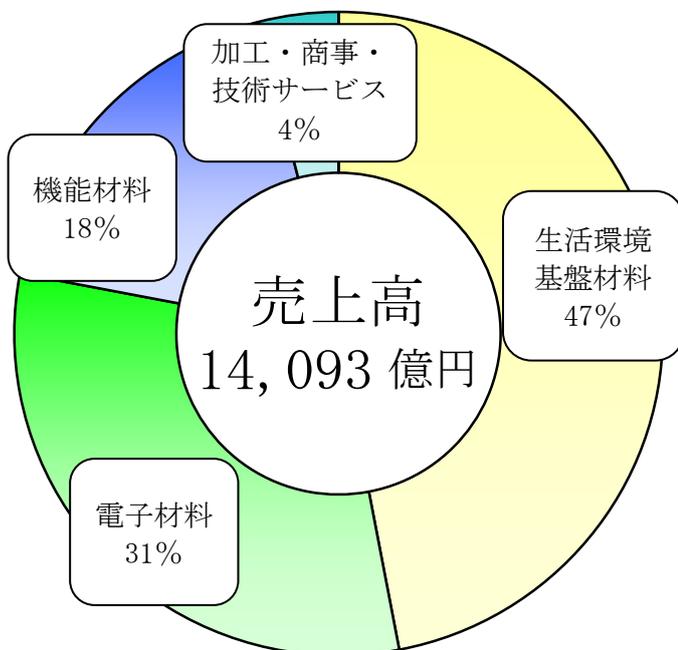
ROIC、ROE（自己資本純利益率）、ROA（総資産経常利益率）の年換算は、それぞれ第2四半期の税引後営業利益、親会社株主に帰属する純利益、経常利益を2倍して算出しています。

※本資料において億円単位で記載している金額は、億円未満を切捨てにより表示しています。

セグメント別売上高と営業利益

(億円)

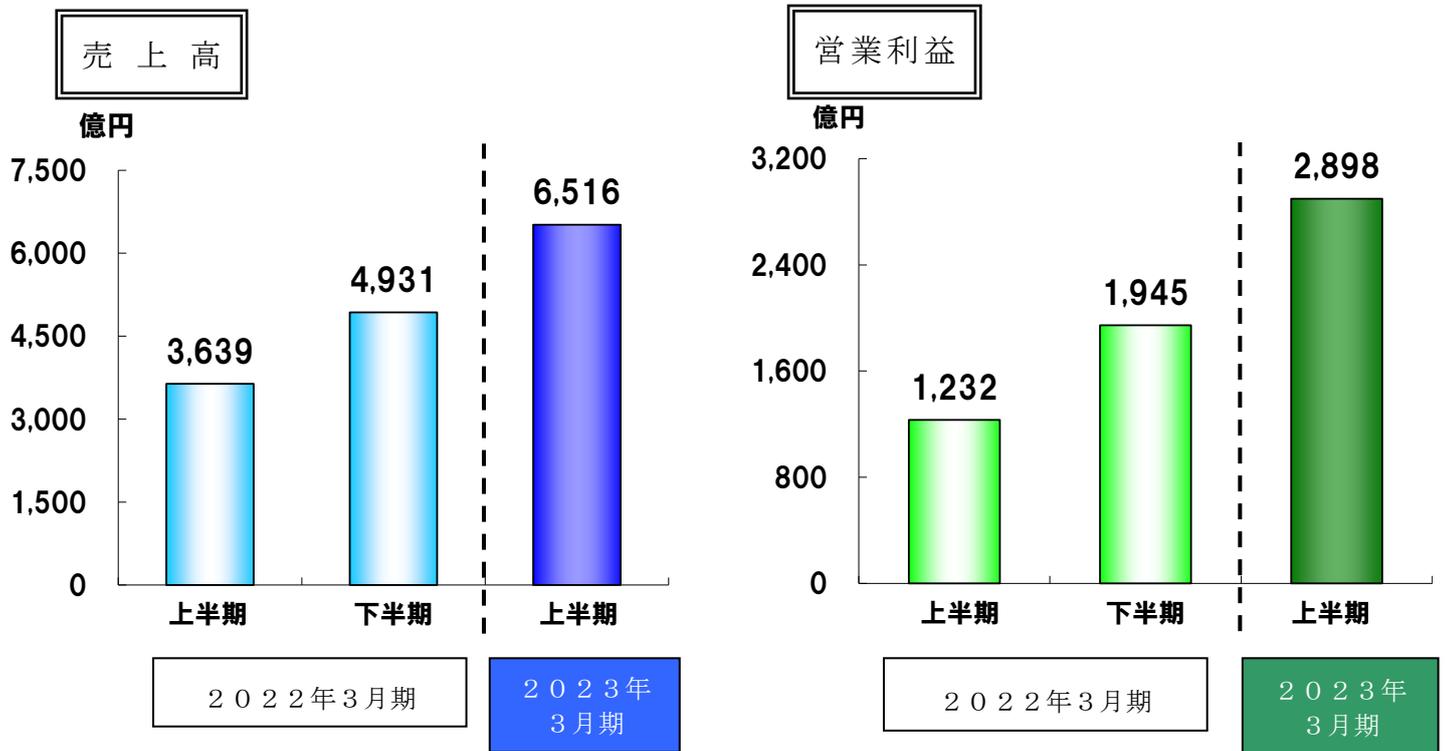
	売上高			営業利益		
	2021年 4月～9月	2022年 4月～9月	増減	2021年 4月～9月	2022年 4月～9月	増減
生活環境 基盤材料	3,639	6,516	(79.0%) 2,877	1,232	2,898	(2.4倍) 1,666
電子材料	3,355	4,393	(30.9%) 1,038	1,187	1,595	(34.3%) 408
機能材料	1,884	2,553	(35.5%) 669	464	735	(58.3%) 271
加工・商事 ・技術サービス	533	630	(18.2%) 97	104	140	(35.0%) 36
合計	9,413	14,093	(49.7%) 4,680	2,984	5,362	(79.7%) 2,378



生活環境基盤材料事業

	2021年 4月～9月	2022年 4月～9月	増減率
	(億円)	(億円)	(%)
売上高	3,639	6,516	79.0
営業利益	1,232	2,898	2.4倍

塩化ビニルに関しては、堅調さを持続した米国シンテック社の4～6月の実績が当該期に計上されています。7月以降の情勢は、世界的な景気後退の様相が市況に表れました。その一方でか性ソーダ市況は底堅さを維持しました。

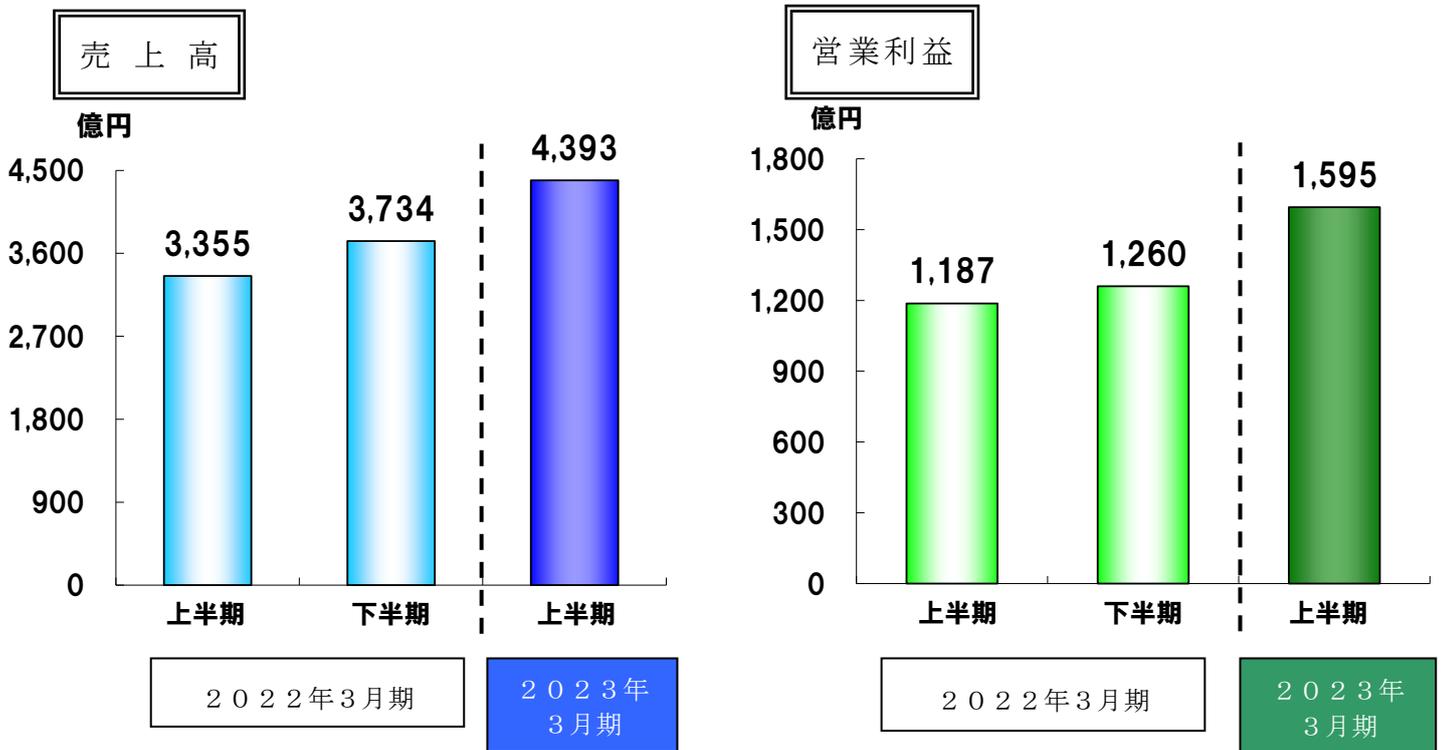


- シンテック社で第二期の新增設工事は計画通り進行中
- 米国事業拠点の競争力の活用と精密な販売

## 電子材料事業

	2021年 4月～9月	2022年 4月～9月	増減率
	(億円)	(億円)	(%)
売上高	3,355	4,393	30.9
営業利益	1,187	1,595	34.3

半導体市場は、当第2四半期もファウンドリーを中心に強い需要が継続し、当社はシリコンウエハー、フォトレジスト、マスクブランクス等の半導体材料を最大限出荷しました。希土類磁石は、半導体不足による顧客の操業制限やデータセンター投資の調整がありましたが、総じて需要は堅調でした。

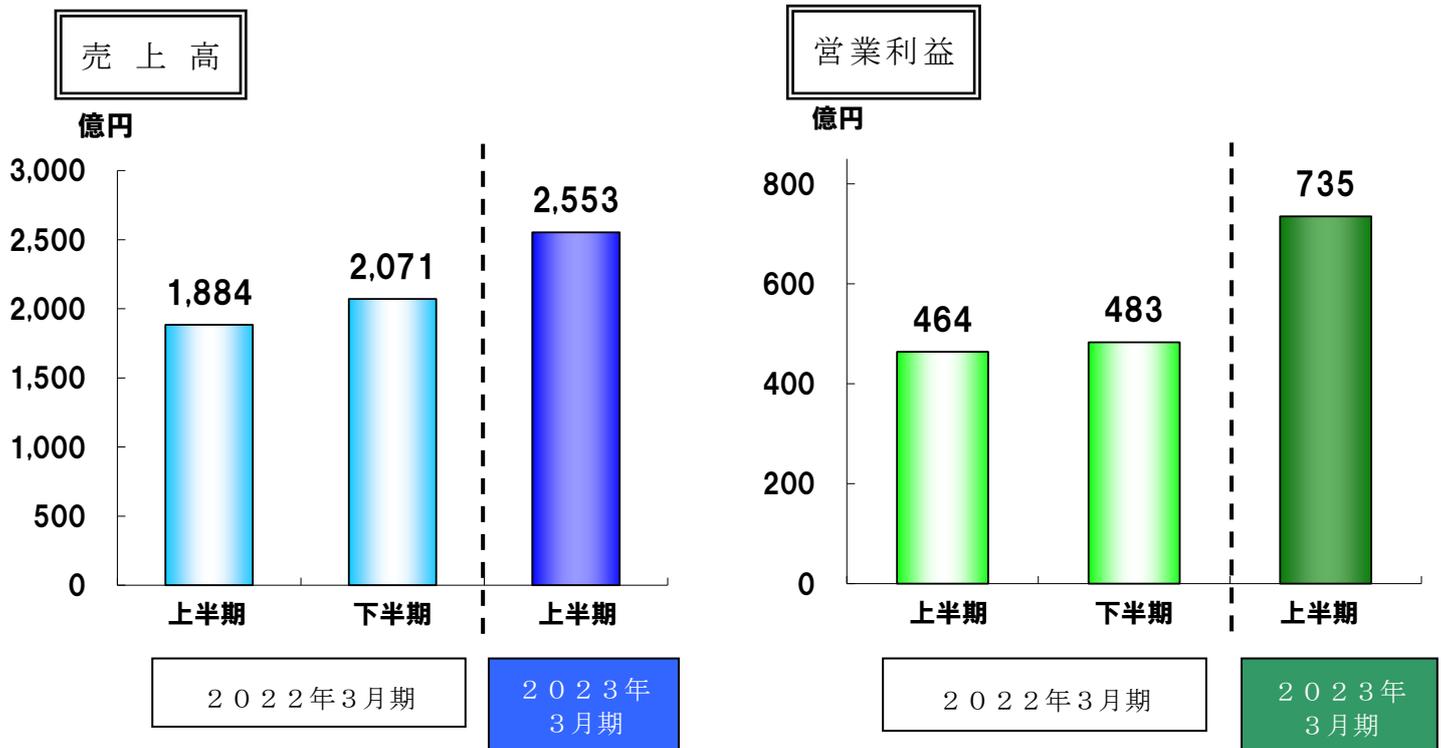


- 顧客状況の的確な把握と供給責任の成就
- 主要国の産業政策や経済安全保障政策への対応
- 半導体における「電力・性能・シリコン面積」の向上に貢献
- 重希土類無使用磁石ほか顧客要請を満たす磁石製品の拡充
- 省力化や電動化に資する技術の提案と供給体制の強化を通じた温室効果ガス削減への貢献

機能材料事業

	2021年 4月～9月	2022年 4月～9月	増減率
	(億円)	(億円)	(%)
売上高	1,884	<b>2,553</b>	35.5
営業利益	464	<b>735</b>	58.3

車載用途、パーソナルケア及びヘルスケア用途ほかの機能性用途向けの割合を適時に上げ、収益性の維持を図りました。

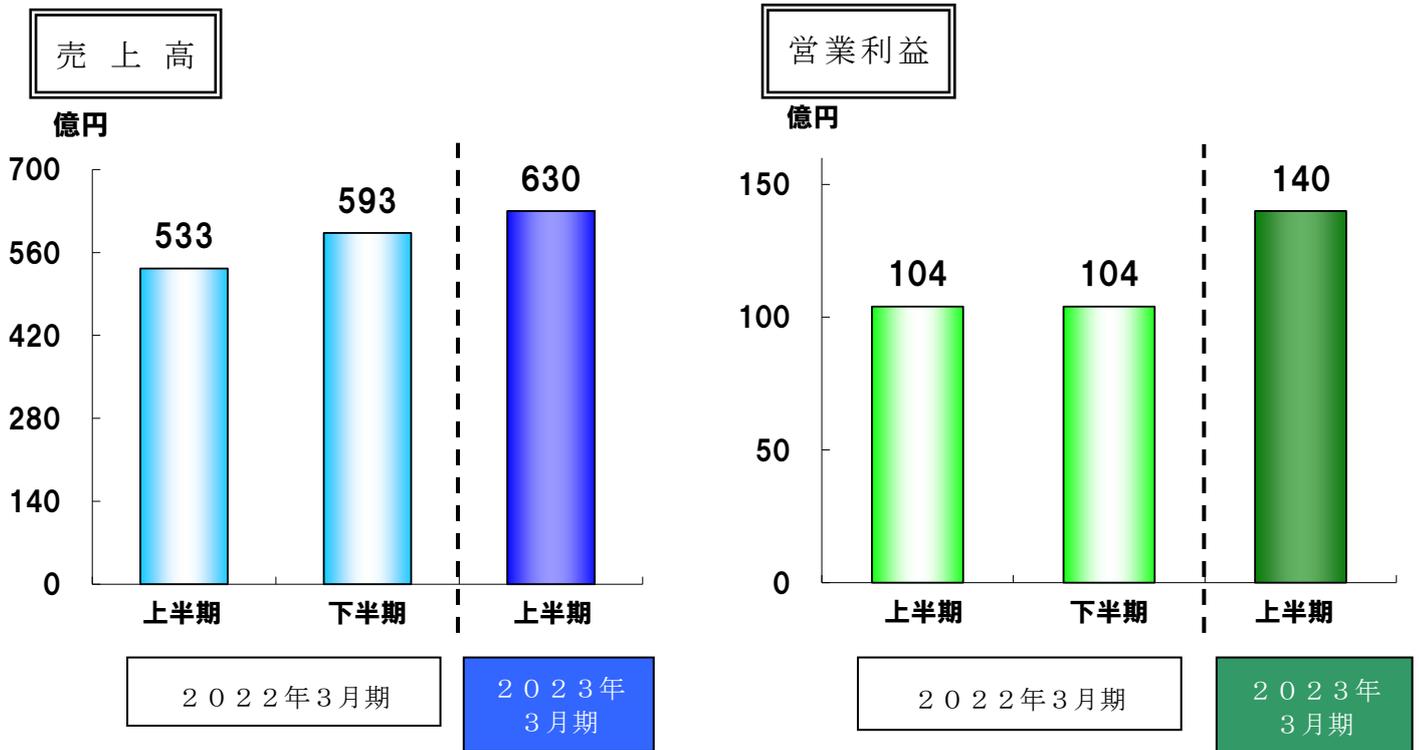


- 特徴のある製品の上市を加速
- リチウムイオン二次電池負極機能材の量産化

加工・商事・技術サービス事業

	2021年 4月～9月	2022年 4月～9月	増減率
	(億円)	(億円)	(%)
売上高	533	630	18.2
営業利益	104	140	35.0

半導体ウエハー関連容器は出荷用、工程内用ともに販売順調で、自動車用入力デバイスの販売は前年並みでした。食品包装用塩ビラッピングフィルムや建設資材など塩ビ関連製品は、改定価格が浸透しつつあります。



- 半導体ウエハー関連容器の生産能力を2024年までに段階的に増強

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国際通貨基金は最近、「世界経済の約3分の1を占める国が今年または来年にマイナス成長となると予想され、2023年の景気減速は広範に及ぶだろう。世界の3大経済である米国と中国、ユーロ圏の失速は続くと思われる」と述べました。このような状況で予想は容易ではありませんが、2023年3月期通期の業績予想を下記の通り上方修正します。

(億円)

	2022年3月期 実績	2023年3月期 予想	増減
売上高	20,744	27,000	30.2%
営業利益	6,763	9,400	39.0%
経常利益	6,944	9,800	41.1%
親会社株主に 帰属する純利益	5,001	6,800	36.0%
1株当たり 純利益	1,204円	1,671円	467円

1株当たり 年間配当金	400円	450円	50円
----------------	------	------	-----

※当資料に記載の業績見通し等の将来に関する記述は、現在入手している情報による判断及び仮定に基づいた記述であり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績等は、様々な要素によりこれら業績見通し等とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績等に影響を与え得る重要な要素には、当社及び当社グループ会社の事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向、対米ドルをはじめとする円の為替レートなどが含まれます。ただし、業績等に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

期末配当金につきましては、7月時点の発表と同様、第2四半期末配当金(225円)と同額の1株当たり225円を予想しています。これにより、年間合計の配当予想は前期より50円増の1株当たり450円となり、8期連続の増配となります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,112,775	1,248,192
受取手形、売掛金及び契約資産	473,513	615,081
有価証券	323,305	285,545
棚卸資産	453,660	571,846
その他	80,539	71,158
貸倒引当金	△5,818	△7,309
流動資産合計	2,437,975	2,784,514
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	788,524	902,275
その他(純額)	501,641	588,146
有形固定資産合計	1,290,165	1,490,422
無形固定資産	10,535	11,178
投資その他の資産		
投資その他の資産	320,557	333,281
貸倒引当金	△5,822	△6,918
投資その他の資産合計	314,734	326,362
固定資産合計	1,615,436	1,827,963
資産合計	4,053,412	4,612,477

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	177,682	199,789
短期借入金	13,461	13,487
未払法人税等	73,756	76,755
引当金	4,747	4,558
その他	208,111	239,198
流動負債合計	477,759	533,789
固定負債		
長期借入金	16,940	18,704
退職給付に係る負債	41,469	45,369
その他	88,034	113,140
固定負債合計	146,444	177,215
負債合計	624,204	711,004
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	119,419	119,419
資本剰余金	129,090	128,969
利益剰余金	2,993,026	3,281,490
自己株式	△15,702	△166,143
株主資本合計	3,225,834	3,363,736
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,841	24,040
繰延ヘッジ損益	△2,535	△3,360
為替換算調整勘定	75,374	384,038
退職給付に係る調整累計額	1,049	985
その他の包括利益累計額合計	100,729	405,704
新株予約権	2,733	2,772
非支配株主持分	99,910	129,259
純資産合計	3,429,208	3,901,473
負債純資産合計	4,053,412	4,612,477

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	941,341	1,409,336
売上原価	554,715	764,965
売上総利益	386,625	644,371
販売費及び一般管理費	88,222	108,133
営業利益	298,403	536,237
営業外収益		
為替差益	211	17,374
その他	6,913	9,838
営業外収益合計	7,125	27,212
営業外費用		
固定資産除却損	804	1,490
その他	1,201	2,932
営業外費用合計	2,006	4,423
経常利益	303,522	559,026
税金等調整前四半期純利益	303,522	559,026
法人税、住民税及び事業税	73,253	136,284
法人税等調整額	1,433	3,282
法人税等合計	74,687	139,566
四半期純利益	228,835	419,459
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,931	27,135
親会社株主に帰属する四半期純利益	220,904	392,324

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	228,835	419,459
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,035	△2,806
繰延ヘッジ損益	2,395	△806
為替換算調整勘定	82,210	312,763
退職給付に係る調整額	351	△63
持分法適用会社に対する持分相当額	403	731
その他の包括利益合計	89,396	309,819
四半期包括利益	318,232	729,278
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	308,092	697,298
非支配株主に係る四半期包括利益	10,139	31,979

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	303,522	559,026
減価償却費	75,649	95,194
受取利息及び受取配当金	△2,634	△4,249
為替差損益(△は益)	2,702	△13,613
売上債権の増減額(△は増加)	△75,023	△96,380
棚卸資産の増減額(△は増加)	△7,581	△83,014
仕入債務の増減額(△は減少)	14,581	10,017
その他	17,754	26,616
小計	328,971	493,597
利息及び配当金の受取額	4,398	10,608
利息の支払額	△391	△539
法人税等の支払額	△66,829	△135,072
営業活動によるキャッシュ・フロー	266,148	368,593
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	△7,169	△5,889
有価証券の純増減額(△は増加)	△48,069	77,617
投資有価証券の取得による支出	△1,056	△1,950
有形固定資産の取得による支出	△104,001	△125,968
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△3,552	—
その他	△698	△2,797
投資活動によるキャッシュ・フロー	△164,547	△58,989
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△699	△598
長期借入れによる収入	2,420	—
長期借入金の返済による支出	△2,335	△501
自己株式の取得による支出	△5,938	△150,942
配当金の支払額	△58,176	△103,861
その他	2,744	△22,560
財務活動によるキャッシュ・フロー	△61,985	△278,464
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,495	90,868
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	53,112	122,008
現金及び現金同等物の期首残高	801,596	1,008,925
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	64	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	854,774	1,130,933

#### (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 31 号 2021 年 6 月 17 日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第 1 四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第 27-2 項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(米国財務会計基準審議会会計基準編纂書 (A S C) 第 842 号「リース」の適用)

米国会計基準を適用する在外子会社において、A S C 第 842 号「リース」を第 1 四半期連結会計期間の期首から適用しています。これによる、四半期連結財務諸表への影響は軽微です。

# (補足資料)

## 1. 四半期業績の推移

(億円)

	2022年3月期					2023年3月期		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期	第1四半期	第2四半期	上半期
	2021年 4-6月	2021年 7-9月	2021年 10-12月	2022年 1-3月		2022年 4-6月	2022年 7-9月	
<b>売上高</b>	<b>4,342</b>	<b>5,071</b>	<b>5,423</b>	<b>5,907</b>	<b>20,744</b>	<b>6,567</b>	<b>7,526</b>	<b>14,093</b>
生活環境 基盤材料	1,571	2,068	2,318	2,613	8,571	2,897	3,618	6,516
電子材料	1,611	1,744	1,812	1,921	7,089	2,111	2,282	4,393
機能材料	916	968	1,007	1,064	3,956	1,251	1,302	2,553
加工・商事・ 技術サービス	243	289	285	307	1,126	306	323	630
<b>営業利益</b>	<b>1,288</b>	<b>1,695</b>	<b>1,817</b>	<b>1,962</b>	<b>6,763</b>	<b>2,496</b>	<b>2,866</b>	<b>5,362</b>
生活環境 基盤材料	441	791	890	1,054	3,177	1,285	1,612	2,898
電子材料	567	620	651	608	2,447	775	820	1,595
機能材料	227	237	218	264	947	367	368	735
加工・商事・ 技術サービス	53	50	59	45	209	70	70	140
<b>経常利益</b>	<b>1,308</b>	<b>1,726</b>	<b>1,867</b>	<b>2,041</b>	<b>6,944</b>	<b>2,626</b>	<b>2,963</b>	<b>5,590</b>
親会社株主に帰属する 当期純利益	957	1,251	1,322	1,469	5,001	1,841	2,082	3,923
<b>研究開発費</b>	<b>140</b>	<b>133</b>	<b>189</b>	<b>161</b>	<b>624</b>	<b>161</b>	<b>168</b>	<b>329</b>
<b>海外売上高</b>	<b>3,271</b>	<b>3,937</b>	<b>4,223</b>	<b>4,637</b>	<b>16,071</b>	<b>5,207</b>	<b>6,140</b>	<b>11,348</b>
連結売上高に 占める割合	75%	78%	78%	79%	77%	79%	82%	81%

## 2. 設備投資額と減価償却額 四半期推移 セグメント別実績及び年間予想

(億円)

	2022年3月期					2023年3月期		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期	第1四半期	第2四半期	上半期
	2021年 4-6月	2021年 7-9月	2021年 10-12月	2022年 1-3月		2022年 4-6月	2022年 7-9月	
<b>設備投資額</b>	<b>467</b>	<b>517</b>	<b>530</b>	<b>622</b>	<b>2,139</b>	<b>539</b>	<b>802</b>	<b>1,341</b>
生活環境 基盤材料	157	204	148	111	621	221	211	432
電子材料	216	201	276	371	1,065	234	476	711
機能材料	83	89	86	114	373	64	86	151
加工・商事・ 技術サービス	12	26	24	31	94	21	32	53
<b>減価償却費</b>	<b>352</b>	<b>403</b>	<b>442</b>	<b>488</b>	<b>1,687</b>	<b>467</b>	<b>484</b>	<b>951</b>
生活環境 基盤材料	115	127	128	141	513	178	162	340
電子材料	153	189	216	248	807	198	227	426
機能材料	75	77	87	87	327	80	85	166
加工・商事・ 技術サービス	9	10	12	13	45	11	11	23

### 年間予想

(億円)

	2023年3月期 予 想
設 備 投 資 額	<b>3,000</b>
減 価 償 却 額	<b>2,150</b>

### 3. その他決算主要項目

(億円)

	2022年3月期 第2四半期 9月末	2023年3月期 第2四半期 9月末	2022年3月末
純 資 産	31,402	39,014	34,292
総 資 産	36,768	46,124	40,534
1株当たり純資産	7,358円	9,269円	8,007円
有利子負債残高	283	321	304
期末従業員数	24,304人	25,296人	24,954人
為替レート：1-6月平均 (US\$) 4-9月平均	107.7 109.8	122.9 134.0	

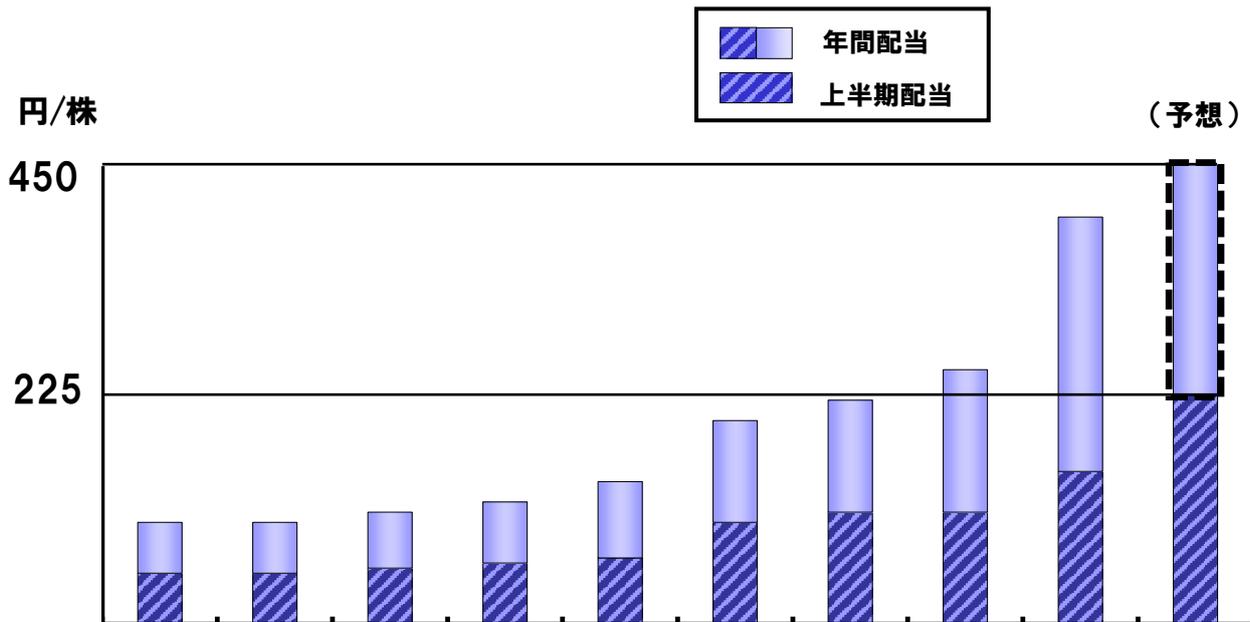
(注) 1-6月平均の為替レートは、海外子会社の損益を連結する際に使用しました。

### 4. 貸借対照表 前期末比増減の内訳

(億円)

	2022年 3月末	2022年 9月末	前期末比	内訳		2022年 3月末	2022年 9月末	前期末比	内訳		
				海外子会社 換算レート差 による影響	実質増減				海外子会社 換算レート差 による影響	実質増減	
流動資産	24,379	27,845	3,466	2,177	1,289	流動負債	4,777	5,337	560	241	319
現金・預金	11,127	12,481	1,354	1,339	15	支払手形 買掛金	1,776	1,997	221	121	100
受取手形 掛金	4,735	6,150	1,415	453	962	短期借入金	134	134	0	3	△3
有価証券	3,233	2,855	△378	1	△379	未払法人税等	737	767	30	11	19
棚卸資産	4,536	5,718	1,182	359	823	その他	2,128	2,437	309	106	203
その他	747	638	△109	25	△134	固定負債	1,464	1,772	308	185	123
						負債合計	6,242	7,110	868	426	442
固定資産	16,154	18,279	2,125	1,602	523	株主資本	32,258	33,637	1,379	0	1,379
有形固定資産	12,901	14,904	2,003	1,548	455	その他の包括 利益累計額	1,007	4,057	3,050	3,228	△178
無形固定資産	105	111	6	5	1	新株予約権 非支配株主持分	1,026	1,320	294	125	169
投資その他の 資産	3,147	3,263	116	49	67	純資産合計	34,292	39,014	4,722	3,353	1,369
資産合計	40,534	46,124	5,590	3,779	1,811	負債・純資産 合計	40,534	46,124	5,590	3,779	1,811

## 5. 配当金の推移



		2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期
配当金	上半期	50円	50円	55円	60円	65円	100円	110円	110円	150円	225円
	年間	100円	100円	110円	120円	140円	200円	220円	250円	400円	※ 450円
1株当たり 当期純利益	年間	267.2円	302.0円	349.5円	412.9円	624.3円	726.0円	755.2円	706.8円	1,203.8円	※ 1,670.7円
配当性向	年間	37.4%	33.1%	31.5%	29.1%	22.4%	27.5%	29.1%	35.4%	33.2%	※ 26.9%

※ 予想

## 6. 生産拠点別セグメント売上高

(億円)

		生活環境 基盤材料	電子材料	機能材料	加工・商事・ 技術サービス	連結
2021年 4月～9月	国内で 生産	541	2,631	1,176	381	4,731
	海外で 生産	3,098	724	707	151	4,682
	計	3,639	3,355	1,884	533	9,413
2022年 4月～9月	国内で 生産	644	3,435	1,538	439	6,058
	海外で 生産	5,871	957	1,015	190	8,034
	計	6,516	4,393	2,553	630	14,093

## 7. 市場別売上高

(億円)

	日本	海外					計	連結
		米国	アジア・オセアニア		欧州	その他		
			うち、中国					
2022年3月期 上半期 (4月～9月)	23%	27%	31%	9%	10%	9%	77%	9,413
	2,204	2,549	2,928	835	901	829	7,209	
2022年3月期 下半期 (10月～3月)	22%	31%	30%	8%	10%	7%	78%	11,330
	2,469	3,581	3,374	960	1,165	740	8,861	
2022年3月期 年間	23%	30%	30%	9%	10%	8%	77%	20,744
	4,673	6,130	6,302	1,795	2,067	1,570	16,071	
2023年3月期 上半期 (4月～9月)	19%	35%	28%	8%	10%	8%	81%	14,093
	2,744	4,879	3,931	1,120	1,429	1,108	11,348	

(注) %は連結売上高に占める割合を示しています。

## 8. 平均為替レートの推移

		US\$ (円/\$)				EUR (円/€)					
		3カ月の トレンド (ご参考)	6ヵ月		12ヵ月		3カ月の トレンド (ご参考)	6ヵ月		12ヵ月	
			1～6月	4～9月	1～12月	4～3月		1～6月	4～9月	1～12月	4～3月
7～12月	10～3月		7～12月	10～3月	7～12月	10～3月					
2021年	1～3月	105.9	107.7	109.8	112.4	127.7	129.8	129.9	130.6		
	4～6月	109.5				132.0					
	7～9月	110.1	129.8			130.9					
	10～12月	113.7	130.1			130.0					
2022年	1～3月	116.2	122.9	134.0	139.3	130.4	134.3	138.7			
	4～6月	129.6				138.1					
	7～9月	138.4	134.0			138.7					

※1～6月平均為替レートは海外子会社の損益を連結する際に使用しました。

	US\$	EUR
2022年10月以降の会社想定レート	140円/\$	140円/€

## 9. トピックス

### ○プレスリリース（2022年4月～2022年10月）

2022年4月 高電圧化が進む電動車部品向けの放熱用シリコンゴムシートを開発

2022年5月 窒化ガリウム (GaN) エピタキシャル成長用基板および関連製品の事業化を加速

2022年7月 抗菌・抗ウイルス機能に優れた高強度無機薄膜コーティング液

「Tersus<sup>®</sup>RN(アール・エヌ)」を開発

2022年7月 台湾 ITRI とミニLEDディスプレイ封止材を共同開発

2022年10月 段ボール等の紙製品に耐水性を付与し、かつリサイクルを飛躍的に促進する

新製品「Sicle<sup>™</sup>」(サイクル)を開発

2022年10月 繊維処理用途向けに業界初のシリコン皮膜形成エマルジョンを開発

★ 上記リリースの詳細につきましては、当社ホームページをご覧ください。 <https://www.shinetsu.co.jp/jp/news/>

## 10. 主な設備投資

★：完成 ☆：完成予定

会社名(場所)	内容	投資金額	2021年		2022年		2023年		2024年	
			1H	2H	1H	2H	1H	2H	1H	2H
シンテック社(アメリカ)	PVCの新増設(第一期)	14.9億ドル		★						
シンテック社(アメリカ)	PVCの増設(第二期)	12.5億ドル						☆		
信越化学(直江津) 信越電子材料股份有限公司(台湾)	フォトレジストの生産能力増強	300億円	台湾 ★		直江津 ★					
信越化学(武生、直江津)	マスクブランクスの生産能力増強	140億円	武生 ★							
信越化学(直江津)	5G向け熱硬化性低誘電樹脂の 量産化投資	30億円		★						
信越化学および海外主要拠点 (群馬、タイなど)	シリコンモノマー、ポリマーの 生産能力増強	1,100億円		→	★					
信越化学(群馬)	シリコン事業の温室効果ガス排出量削 減に資する投資(ガスタービン発電設備、 環境に貢献する製品の増強)	200億円		※			→	☆		
信越化学(群馬、武生、直江津)	シリコン、高機能製品群の生産能力増強	800億円				※				→

※ 順次立ち上げ